

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名		株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。		
担当者名	所属氏名			問い合わせ電話		
				e-mail		
提案プロジェクト名		高齢化社会における大規模ニュータウン再生に向けた環境共生都市づくりプロジェクト		※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。		
都道府県名		東京・大阪・名古屋都市圏など		※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。		
対象地域		市町村名		※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。		
① 関連する分野	環境（低炭素、都市環境） 超高齢化（移動（交通）、安全・安心、健康） その他（）		※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。			
② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<p><現状認識></p> <ul style="list-style-type: none"> 問題：高度経済成長期に大都市の人口集中対応のために開発されたニュータウンにおいて、団地・集合住宅の老朽化や住民の超高齢化などの問題が顕在化 対策：今後、高齢者や若年層も含め、住環境、コミュニティ、公共交通への対応など、持続的に暮らせるための住みよい生活環境の確保が求められ、さらには低炭素社会実現に向けた取組・整備の推進も必要な状況 実行：住民への意識付け・理解、実施体制、資金調達、国・自治体や関連企業などとの連携が必要 <p><将来ビジョン></p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境価値の創造：低炭素、都市環境 ・2050年予測：ニュータウン全域における再生可能エネルギーを活用したスマートグリッド・スマートシティ化／2020年、2030年の姿：団地等への再生可能エネルギーの導入による独立電源の確保 ・2050年予測：緑豊かな自然環境と再生可能エネルギーシステムとの共生化／2020年、2030年の姿：緑豊かな自然環境を維持しながら段階的に再生可能エネルギーシステムを導入 ●社会的価値の創造：高齢者の健康、安全・安心、高齢者へのモビリティの確保（交通環境の向上） ・2050年予測：高齢者等に対応した団地・集合住宅のリニューアルおよび周辺環境を含む面的な整備／2020年、2030年の姿：高齢者に対応した団地・集合住宅のリニューアルおよび周辺環境への段階的なバリアフリーによる歩行者空間の確保 ・2050年予測：通勤、買物、団地交流など、用途やニーズに応じた利用が可能で、環境等にも配慮した多様なモビリティサービスの運用／2020年、2030年の姿：高齢者への交通の確保としてバスやタクシーなどを活用した運用システムの導入 ●経済的価値の創造：安定的な住環境の確保（生活環境の向上） ・2050年予測：地域の独立電源化、複合施設や機能をもつ団地・集合住宅のリニューアル、企業誘致による雇用確保など地域全体の再開発の実施／2020年、2030年の姿：団地・段階的な集合住宅のリニューアルおよび周辺開発 						
③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）		※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。				
<ul style="list-style-type: none"> ●環境価値の創造：低炭素、都市環境 ・将来のスマートグリッド・スマートシティに向け、団地・集合住宅へ太陽光発電を主体とした再生可能エネルギーを導入し、低炭素や災害時へ備え機能確保に向けた取組を推進 ・将来のスマートグリッド・スマートシティの構築とあわせ、緑豊かな自然環境と共生を図るための保全への取組を推進 ●社会的価値の創造：高齢者の健康、安全・安心、高齢者へのモビリティの確保（交通環境の向上） ・高齢者等に対応した集合住宅・団地のリニューアルおよび周辺環境へのバリアフリーによる歩行者空間の確保に向けた取組を推進 ・市民同士のコミュニケーションを促進する場の再生 ・高齢者のニーズや需要を踏まえ、デマンド交通や郵便配達等に旅客輸送を組み合わせた運用システム、電動アシスト自転車の導入などの実現に向けた取組を推進 ●経済的価値の創造：安定的な住環境の確保（生活環境の向上） ・複合多機能施設を踏まえた団地・集合住宅のリニューアル化や、企業の社宅利用として活用するなどの企業誘致や連携を図る取組を推進 						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業（技術・システム、サービス、仕組み等）						
番号	取組・事業の名称	取組・事業の概要	取組・事業の期間	実施主体・運営主体	価値、分野の種類	国の支援の必要性
	※異なる名称を付けてください。	※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を（ ）内に記入してください。		※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	協議会：住民等における協議会の構築（エリアマネジメントの導入）	自治基本条例の規定として、市民参画の機会を保障している自治体もあるが、地元自治会においても大学などの有識者、専門家などの多様な主体を取り込み、ニュータウン再生への取り組みや環境保全などへの意識を向上させ、自発的に取り組むための協議会等を構築する。議論を通じて、取組の優先順位をつけることなどを実施する。	平成23年～	地域住民、自治体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、健康・安全・安心・高齢者へのモビリティ確保 経済的価値、安定的な住環境の確保	
(2)	住環境再生：老朽化した団地、集合住宅のリニューアル	老朽化や陳腐化した集合住宅・団地に対して、空間の再構成や機能の向上、環境性能の高い建築物(省エネ、再生可能エネルギーの活用など)へのリニューアル化を段階的に整備する。	平成23年～	地域住民、自治体、不動産・建築関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、高齢者の安全・安心	○
(3)	住環境再生：団地、集合住宅、商店等への再生可能エネルギー（太陽光発電システムなど）の導入	地域における環境負荷の低減や、災害時などの電源確保に対応するため、団地、集合住宅、商店等へ太陽光発電システムを主体とした再生可能エネルギーを導入する。	平成23年～	地域住民、自治体、太陽光発電関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、高齢者の安全・安心	○
(4)	住環境再生：IT活用による高齢者向けの在宅支援サービス	高齢者の生活環境の向上に向け、簡単に操作可能なタッチパネル式のインターネット通信などによるネットワーク化や、自宅まで商品を配達可能にするなどのシステムを構築する。また、だれもが情報の利用や受発信を通じて、多様な交流や社会参画を図れるような取組も実施する。	平成23年～	地域住民、自治体、IT関連団体など	社会的価値、安全・安心・高齢者へのモビリティ確保	○

(5)	コミュニティ再生: 拠点都市づくりの推進	再生するニュータウンに、商業、医療、介護、保育や地域交通など、新たな複合多機能都市として集積した施設を、持続可能性を十分に配慮し、段階的に計画・推進する。	平成23年～	地域住民、自治体、不動産・建築関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、安全・安心・高齢者へのモビリティ確保 経済的価値、安定的な住環境の確保	○
(6)	コミュニティ再生: 企業の誘致や連携の推進(団地の一部を企業の社宅に利用してもらうなど)	環境共生都市づくりへの連携や研究の効率化、取り組みやすい環境整備への取組も行うことで、企業誘致とともに、団地を社宅として利用してもらうなどの活用を推進する。	平成23年～	民間企業団体など	経済的価値、安定的な住環境の確保	
(7)	コミュニティ再生: (高齢者へのバリアフリー化に対応した)面的歩行者空間の創出・充実	再生するニュータウンの街路を面的に連携させ、高齢者への安全性や快適性を重視したバリアフリーによる歩行者優先エリアを創出、運用する。「にぎわい」を街路上のみで展開することは困難であるため、既存の公園や緑地などの必要なオープンスペースを十分に活用した空間として創出する。	平成23年～	地域住民、自治体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、健康・安全・安心・高齢者へのモビリティ確保	○
(8)	公共交通再生: 高齢者等に対するデマンド交通などのコミュニティバスの整備	高齢者などの移動困難者に対応するため、団地と駅、商店、公園、病院などを巡回するデマンド交通などのコミュニティバスの運行を導入する。	平成23年～	地域住民、自治体、バス事業者関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、高齢者へのモビリティ	○
(9)	公共交通再生: 環境にやさしい電動アシスト自転車をレンタサイクルとして導入	環境負荷の低減への取り組みや高齢者にとっての坂の多い厳しい地形等に対応するため、気軽に利用できる交通手段として、電動アシスト自転車のレンタサイクルを各地域や団地等に導入する。電源は、例えば駐輪場の屋根を活用した太陽光発電で確保する。	平成23年～	地域住民、自治体、電気メーカ関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、高齢者へのモビリティ	○
(10)	公共交通再生: 郵便配達等に旅客輸送を組み合わせた運用システムの導入	高齢者の足となるバスは、需要が少ないところでは増発が難しい、またタクシーは料金が高いため毎日利用しづらい、このことを踏まえると、効率的かつ効果的な運用が可能で、比較的安全な導入が考えられる。郵便配達等に旅客輸送を組み合わせた運用システムを導入する。	平成23年～	地域住民、自治体、郵便・宅配関連団体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、高齢者へのモビリティ	○
(11)	環境保全: 環境共生に向けた緑豊かな自然環境の保全	ニュータウンは、緑が豊かで空気がきれいな場所をもつところもあり、これは地域の財産でもあるため、このような状況を保つための維持管理を推進する。また、周辺の土地利用を計画的にコントロールし、生鮮食品の安定的供給を実現する。	平成23年～	地域住民、自治体など	環境価値、低炭素・都市環境 社会的価値、健康 経済的価値、安定的な住環境の確保	

⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容

※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。

- (2)老朽化した団地、集合住宅のリニューアル+(3)団地、集合住宅、商店等への再生可能エネルギー(太陽光発電システムなど)の導入+(4)高齢者向けの在宅支援サービス
⇒「住環境再生」へつなげる取組
- (5)拠点都市づくりの推進+(6)企業の誘致や連携の推進(団地の一部を企業の社宅に利用してもらうなど)+(7)(高齢者へのバリアフリー化に対応した)面的歩行者空間の創出・充実
⇒「コミュニティ再生」へつなげる取組
- (8)高齢者等に対するデマンド交通などのコミュニティバスの整備+(9)環境にやさしい電動アシスト自転車をレンタサイクルとして導入+(10)郵便配達等に旅客輸送を組み合わせた運用システムの導入
⇒「公共交通再生」へつなげる取組